

# 消費者選択事業活動の概要

事業者：味の素冷凍食品株式会社



## 計画概要

「環境への配慮」活動全体を統一コンセプトのもと構造化し、物語として消費者に届ける活動を開始する。オウンドメディアや教育機関連携を通じ情報発信を拡大し環境配慮への理解と共感を育み、消費者と共に持続可能な社会づくりに貢献する。

目標 令和8年4月～令和12年3月

味の素冷凍食品の「環境への配慮」活動・アクションに関する消費者向けの刊行物を制作し、計画終了までに計20件発信する。

## 食料システムへの寄与

「環境への配慮」活動・アクションを通じて、環境配慮に取り組む企業の商品をおいしく食べること自体が、食品のサステナブルに参画しているという貢献実感創出に寄与する。加えて自身の暮らしを無理に変えることなく、またストレスなく、食のサステナブルに参画できるという理解・共感を得て、食品産業に好影響を波及させるという消費者のパーセプションチェンジ（認識の変化）に寄与する。

また本活動の結果として食品産業全体の付加価値向上と持続的成長に貢献する。

## 計画のイメージ

オウンドメディア（ホームページ・SNS）における情報発信例

The screenshot shows a news article from the Ajinomoto website. The headline reads "捨てずに活かす、その先へ -めぐりめぐって再びAJINOMOTO.ギョーザに!?" (Use it again, beyond舍弃 - from one cycle to the next, back to AJINOMOTO. Gyoza!). The article discusses the company's efforts to reduce food waste by repurposing ingredients from discarded gyoza shells into new products. It features illustrations of people and food items.

九州から全国へ、  
そして、未來のおいしさと地球のために。  
この度お読みください、この「資源循環ストーリー」。九州工場だけでなく、国内の他の工場にも適用がでいい予定です！まずは、<ショーケース>から  
脚本4章を読んでみて、2024年までにまとめて読むとキャップの「資源循環ストーリー」満足度が高まります。  
これからも、暮らしや社会、そして次の世代のための「未来」を一緒についていったために、フードシステムなど、環境にやさしい様々な取り組みを実現していきましょう。

1/2

(2025年12月19日認定)